令和３年度　学校関係者評価

学校番号	7	学 校 名	静岡県立伊豆総合高等学校	記載者	松浦　真一郎

Ａ：十分達成できた　Ｂ：概ね達成できた　Ｃあまり達成できなかった　Ｄ　ほとんど達成できなかった

２　本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	規律ある生活習慣を確立し、地域から信頼される生徒の育成を図る。	・毎授業開始時の挨拶と服装指導 ・欠席者１日平均８人以下 ・朝食摂取率 98%以上 ・学校行事を積極的に行う生徒 80%以上	B	B	挨拶や服装についての指導は徹底できている。規則正しい生活習慣（朝食）を定着させるために、できない原因を調査するとよい。
イ	**学習における基礎基本の確実な定着と主体的な学習活動の推進を図る。**	・授業に意欲的に取り組む生徒 80%以上 ・対話的協働学習を週１回以上実施 ・授業外学習時間１日平均１時間以上 ・年間５冊以上の読書	B	B	達成できていない項目（読書・家庭学習）については、目標設定や実態状況を把握するための設問の見直しが必要。
ウ	**人権意識の涵養に努め、思いやりある豊かな心を育む。**	・外部連携やアンケートを活用した迅速かつ組織的な対応 ・心をはぐくむ講話や活動を各学年学期１回以上実施	A	A	コロナ感染症に関するいじめ等もなく、人権意識の啓発がよく行われている。カウンセリング等も充実してきている。
エ	個に応じたきめ細かな指導を充実させ、適切な進路実現を図る。	・「未来伊豆探究」等の時間における外部連携授業の実施・充実 ・就職内定 100%、進学未定者ゼロ ・国公立大学進学複数名 ・生徒各自１つ以上の資格取得	A	A	充実した外部連携が実践されている。地元に貢献しようという意欲のある在校生、卒業生の活躍が目立つ。
オ	**伊豆市及び近隣市町の関係機関、大学等上級学校、企業、地域等との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。**	・外部講師又は外部連携授業を各教科複数回数実施 ・工業の出前授業やワークショップの実施 ・基本的に週１回以上の定期更新	B	B	発信される情報については年ごとに充実してきている。発信の手段についてはさらに工夫が期待される。
カ	**各学科及び系列の教育内容や教育課程の改善を通して、特色ある教育の一層の推進を図る。**	・ジオパーク学習満足度 90%以上 ・課題研究において、複数類型の生徒が協力して取り組むテーマを１つ以上 ・「産社」「総学」の授業満足度 90%以上 ・公開授業の年２回以上の実施 ・ICT を活用した授業を実践している教員 50%以上 ・オリパラへの生徒の意識の高揚	A	A	制約の多い中で実施の方法を工夫しながら取り組んでいる様子が伺える。オリンピックやパラリンピックに関する取組も貴重な体験となった。ＩＣＴの活用については、十分な環境が整わないこともあるようだが、今後さらに進めていってほしい。
キ	安全教育・防災教育・環境教育・社会貢献活動の推進及び教育環境の整備・充実を図る。	・施設・設備の不備による事故発生０件 ・実践的訓練１回以上実施 ・ゴミの分別の徹底	B	A	防災については、地域とより一層連携を強めていくことが大切。地域貢献の意識は育ってきているように思う。
ク	教職員の資質・能力の向上と組織の活性を図るとともに、多忙化解消を推進し、勤務の環境を整える。	・校内研修を年２回以上実施 ・グランドデザイン設計の完成 ・生徒と向き合う時間の増加 ・時間外勤務月 80 時間以上５％以下	A	A	教員の多忙さは理解しており、家庭でやるべきことは家庭でするという役割分担が必要である。